

郡司ひさる奨学生近況報告

▼「自身が納得できるクオリティーの卒業論文に仕上げたい」

24期 九州の国立大学4年の女性

大学に入学し、約3年が経過しました。3年次前期までの努力が実を結び、卒業要件単位をあらかじめ取得することができました。そのため、3年次後期は、東洋史ゼミにおける研究報告と教職科目の履修に尽力していました。今期の東洋史ゼミでは、卒業論文のテーマに関する研究報告を行いました。私は唐代の第9代皇帝によって選集された『大唐開元礼』を用い、唐代における後宮の後妃・女官制度について研究しています。この研究内容は先行研究がほとんど存在しないため、とても大変です。しかし、4年次後期には、卒業論文の提出も控えているので、これからもコツコツと頑張り、自身が納得できるクオリティーの卒業論文に仕上げたいと考えています。また、4年次前期に控えている教育実習にむけて、教職科目にも懸命に取り組むたいと考えています。

3年次後期、私は就職活動を始めました。就職活動を始めた頃は、就職活動のやり方さえも分からず、ただただ焦燥感に駆られていました。しかし、その後、一足先に就職活動を始めていた友達から就職活動のやり方などについてのアドバイスをもらい、少しずつ前進することができました。自身のやりたい仕事が見つからず、悩んでいた私ですが、春休みに入り、各企業の会社説明会やインターンシップに参加する中で、自身がやりたい仕事や企業選びの軸が明確になりました。現在、各企業の本選考がスタートし、就職活動が本格化しました。自己分析や業界・企業研究、筆記試験対策、エントリーシートや履歴書の作成など、やらなければならないことがたくさんあり、心が折れそうなきときもありますが、悔いが残らないよう、最後まで精一杯頑張りたいと考えています。

春休みに入りましたが、就職活動が忙しく、趣味に没頭することも、旅行することもできませんでした。無事、就職先が決まったら、就職活動を頑張ったご褒美として、ずっと訪れてみたかった関西を旅行したいと考えています。

▼「英語を少しでも活かせるような仕事につきたい」

24期 九州の私立大学生で留学中の女性

今学期は3年生秋学期で授業でもゼミが本格的に始まり忙しい学生生活になりました。アルバイトも今のバイト先を始め、約1年が経ちました。バイト先ではいつも勉強になることばかりです。バイト先での後輩ができ研修期間には教える立場になり、どうやって説明すれば伝わりやすいのかなど日々後輩の見本になれるような行動を心がけています。また、私がアルバイトをしているスーパーではいろんなお客さんが来るのでとても勉強になっています。例えば、TSMCの影響で台湾人のお客さんもたくさん来ます。また、韓国やアメリ

かなど様々な国の方々が来店されます。私は、レジを担当しているのでお客さんと話す機会が多いです。バイトを始める前は日常生活で英語を話す機会がほとんどなかったのですが、今のアルバイトを始めてから英語でも接客する機会が増え、英米学科に通っている私にとってはとてもいい機会だし、勉強になります。

また、就職説明会に行きたくさんの企業のことについて調べることが多い学期でもありました。私は、2025 年 4 月から 2026 年 3 月まで学校を休学しカナダへワーキングホリデーに行くことに決めました。なので、今はインターンや就職説明会に少しだけ参加し帰国後すぐに就活をできるように今少し体験しています。まだ、どんな職業に就くかははっきりと決めていませんが帰国後 4 年間学んだ英語を少しでも活かせるような仕事につきたいと思います。正直、今の実力ではまだまだなので、カナダにワーキングホリデーに行っている間も勉強をサボらずに目標を決めて日々生活そして勉強に力を入れていこうと思います。

帰国後は大学生最後の年になります。これまでの大学生活 4 年間で今後の人生で無駄にならないようにしっかりと最後まで意識して生活するとともに、無事卒業して大学生活に気持ちよく終止符を打てるよう心がけます。まずは、目の前にあることを 1 つ 1 つ丁寧のこなしでいくことを第一に残りの学生生活を謳歌し楽しんでいきたいです。

▼社会活動で様々な気づきを発見し対面コミュニケーションの大切さを学ぶ

24 期 東京の私立大学 4 年の女性

3 年生後期の大学生活では、特に私が所属しているゼミナールと、大手小売店とのコラボ企画が印象に残っています。2024 年 12 月に東京都内で開催された販売イベントに参加しました。このイベントは「ヒトとつながる、マチとつながる」をテーマに、地域の特産品の販売やワークショップを通じて、地域の魅力を再発見することを目的としています。

ワークショップでは、地域のパン屋さんとのコラボレーションによるパンの販売や、子どもたちが楽しめる、紙コップを使ったお菓子のガチャガチャ作り体験、そしてコーヒー消臭クリスマスオーナメントづくりをゼミナールの生徒が企画から運営までそれぞれ行いました。特に私が所属した班の「コーヒー消臭クリスマスオーナメントづくり」では、コーヒー豆が持つ消臭効果を利用し、参加者がオリジナルのクリスマスオーナメントを作成しました。このワークショップは、環境への配慮と地域資源の活用をテーマにしており、参加者から好評を得ることができました。このコラボ企画を通して、地域の特性やニーズを考慮しながら、イベントの企画・運営を行い、地域社会とのつながりを深める貴重な経験を積みました。

今回の販売イベントでは、集客の難しさを実感する一方で、偶然立ち寄ったお客様との対面コミュニケーションの重要性を学びました。大手小売店さんからのフィードバックでは、「お客様視点」を持ち、来場者が何を期待し、どうすれば興味を持ってもらえるのかを考えることが、イベントの盛り上がりにつながるという指摘をいただきました。次回も機会があるのであれば、告知方法の工夫に加え、当日偶然訪れた方にも関心を持ってもらえるよう、

視覚的に分かりやすい展示や、気軽に参加できる仕掛けを取り入れたいと考えています。お客様との対話を大切にしながら、より多くの人にイベントの価値を伝えられるよう工夫を重ねていきたいと感じました。

また、2年間続けている団体のアルバイトについては、今年度は宿泊業務や施設管理、イベント運営補助を引き続き担当し、書類整理や環境整備を通じて業務の円滑化に努めることができました。キッズフェスタやサマースクール、焚き火事業といったイベントでは、子供たちの体験活動をサポートし、安全で楽しい環境づくりを意識して取り組みました。

特に今年度は、「個々の成長を尊重する姿勢」の重要性を学んだ一年となりました。例えば焚き火事業では、ファイヤースターターをうまく使えない子供たちに対し、どのように声をかければ前向きな気持ちを引き出せるかを工夫しました。昨年度の経験を活かし、一人ひとりの挑戦を尊重したことで、子供たちが自信を持って取り組む様子を見ることができて嬉しかったです。

これらの経験を活かし、今後もイベントの場面ごとに適切な声かけを行い、参加者の意欲を引き出せるよう努めるとともに、状況に応じた柔軟な対応力を磨き、チーム全体のスムーズな運営に貢献していきたいと考えています。

▼「心に少しでも寄り添うことの大切さを再認識」

24期 関東の国立大学4年の女性

4年次に進級し、新たな1年を迎えました。進級して早々に授業が始まり、忙しい毎日を送っています。専門的な授業は概ね3年次で履修を終え、残すところ、研究発表や臨床実習、就職活動、国家試験、卒業試験のみとなりました。中でも研究発表の準備が最も苦勞しており、文献調査や資料作成、発表練習等に多くの時間を費やしています。今年度はこれまでに以上に忙しくなると予想されますが、大学生活最後の年を実りあるものにできるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと考えています。

新年度に入ったということで、新入生が入学してきました。寄宿舎にも1年生が入って来て、賑やかになり、嬉しく感じています。先輩として、1年生の緊張や不安を少しでも軽減できるようにサポートしたいと思っています。

3年次の後期における学修では、主に臨床実習に向けた授業が沢山ありました。例えば、高齢者理学療法学や地域理学療法学では、病院の系列の施設に訪問して、利用者の方々と交流する機会がありました。大学内だけの授業では、そういった地域の方々と触れ合うことは少なく、貴重な体験をさせて頂きました。また、地域住民を対象とした体力測定会にもボランティアとして参加しました。そこでは、高齢者の身体機能だけでなく、視力、聴力や認知機能、嚥下機能などの多種多様な検査がありました。私は、その一部である認知機能を担当しました。認知機能の検査は高齢者にとって精神的にとっても負担のかかるものです。そのため、参加者の気持ちを理解し、親身に検査することが重要になります。私は、この検査を通して、認知機能に関わらず、他の検査においても、参加者一人一人の心に少しでも寄り添う

ことの大切さを再認識しました。

最後に、4年生で最後となる2回の臨床実習が間近に迫っています。これまでの学びを最大限に活かし有意義な実習になるよう真摯に取り組んでいこうと思います。

▼「南太平洋の国でチャイルドケアボランティア活動」

24期 関西の私立大学4年の女性

今期から大学生最後の年となり、改めて時が過ぎるのが早いなと実感しています。授業に関しては、必修科目が少なく、ほとんどが選択科目なので、自分が興味のある分野の科目を選択し、新しい学びを多く得ることができたように感じます。私生活では、これまでと同様に引き続きボランティア団体での活動に積極的に取り組みました。2月には海外からの留学生や日本全国のボランティア学生と交流する機会もあり、ボランティア団体の活動に関することについて議論し合ったり、情報共有し合ったりしました。同じ志を持って活動している仲間が全国各地にいるということは活動自体の認知度を上げることができるチャンスでもあります。今後、さらに声をあげて活動自体がより意味のあるものになるようにしていきたいと考えています。先日、約一か月間、南太平洋の国でチャイルドケアボランティア活動に参加しました。そこでは、現地の幼稚園で子どもたちと一緒に遊んだり、簡単な英語を教えたり、折り紙を一緒にしたりするなどして、主に先生のアシスタントとして活動しました。渡航前は、緊張と不安が大きく、現地での生活に慣れるのに時間がかかると思っていました。しかし、いざ渡航すると思っていたよりも過ごしやすい環境だったことに驚きました。日本との天候の違いには心身ともに疲れがあらわれることもありましたが、貴重な経験となりました。以前からの将来の夢に加えて、またやってみたいと思うことが増えてきているいま、大学卒業後に自分が何をしていきたいかが定まっていないというのが現状です。これから卒業論文の作成にも取り組まなければならない時期に入るので、今後のことも視野に入れながら深く考えようと思います。

▼「たくさん踊り、イベントもたくさん出て、成長できた一年」

25期 東京の私立大学3年の女性

二年生は、サークル活動を一番頑張りました。私はダンスインカレに所属していますが、二年生になってから大学のダンスサークルにも入りました。自分の大学であるので、練習場所も自由に確保でき、たくさん踊った一年でした。イベントもたくさん出て、成長できた一年でした。

次に、教員採用試験に向けて本格的に勉強を始めました。三年生で、筆記試験のみ前倒し受験ができるようになったため、今年挑戦します。七月に本番があるので、残り三か月サークルから勉強にシフトチェンジしていきます。

二年生は新しい挑戦や、新しい環境が増えた一年でした。自分のしたいことに没頭できました。三年生は勉強に没頭する一年にしたいです。七月の教員採用試験の結果が良くても悪

くても、試験は終わらないので、諦めずに勉強を続けていきたいです。

▼「成績を落とさず就職活動に力を入れて精進」

25期 北海道の私立大学3年の男性

9月からの半年間を振り返り、大きく印象に残ったのは勉強とアルバイトです。勉強では前期から更に専門分野が多くなり、単位が簡単に取れなくなりました。日々のレポートや課題はもちろん、テスト期間の3週間前から徹底的に勉強する必要がありました。また建築の設計課題でも前期より規模の大きい建築模型の作成を求められたため、1月は勉強漬けの毎日でした。成人式で久しぶりに会った中学時代の友人の奮闘ぶりに接し、これまで以上に頑張ろうと思えることができたことも追い風となって、一番高い成績を残すことができました。2、3月には引越し屋さんとコンビニ店でアルバイトをしたのですが、相当の時間を充てました。これほどアルバイトをしなければいけなかったのには理由があります。3年生になり就活が始まると中々アルバイトができないであろうと考えたため、貯金したお金を少しずつ切り崩し、就活にも力を入れられると判断しました。アルバイト以外で様々なことが身の回りで起き、大学を辞めたいと考えてしまう時もありましたが、今まで応援してくださった施設の職員の皆様や、奨学金を助成してくださっている読売光と愛の事業団と同事業団への寄付者の皆様方の支えに思いを巡らし、乗り切ることができました。3年生では今まで以上に難しい分野を勉強することになりますが、成績を落とさずに就職活動にも力を入れて、自分が志望する企業に就職できるように精進していきたいと考えています。そして毎回の近況報告でも述べさせていただいていますが、私がこうして大学生活を送れているのは、応援してくださる皆様のおかげだと思っています。将来は自分の夢を実現させて、誰かを支援してあげることが皆様への最大の恩返しだと考えているので目標を実現させるために、これからも努力を継続していきたいです。これからもどうぞよろしくお願いします

▼「病院でのケアワーカーの経験が看護実習で役立った」

25期 関西の私立大学3年の女性

去年の8月より一人暮らしを始めてから半年が経ちました。生活はだいぶ落ち着いてきて、新しく始めたアルバイトにも慣れてきました。現在は、カレー屋さんと病院でのケアワーカーとしてアルバイトを両立しています。病院では、ケアワーカーとして実習で行う陰部洗浄・シーツ交換・寝衣交換・入浴介助など様々なことが出来る為、とても今後に向けて役立っています。

今年の2月に看護実習がありました。そこでは先輩看護師の指導の下、一緒に患者の援助を実施することが基本的ですが、私はアルバイトでの日々の経験が活かされ、先輩看護師より指導することは特にないと言われたことで基本的な援助は一人で行うことになりました。一人で援助を実施できた学生は私だけだった為、一人ですることに対して不安がありながらも嬉しかったこと、アルバイトで先に経験できたことが大きかったと感じました。また、

今回は実習記録・実習後のレポートがとて多く追われたことで、その期間中のアルバイトはほとんどできませんでした。時間の活用の中で、まだ実習とアルバイトの両立に慣れていない部分もあり、アルバイトもしつつ実習もこなせるようにしたいと思いました。

大学 2 年生の生活も単位をしっかりと取ることができ、無事に終われたこと、進級することが出来たことは良かったです。3 年生の大半は看護実習が中心なので、今後さらに事前学習や課題に追われると思いますが、今まで通り少しずつこなしながら頑張っていこうと思います。その中でも、3 年生から国家試験の勉強や対策授業が始まります。以前に模試を一度受けましたが、あまり良い成績ではありませんでした。基礎的な知識の抜けが多く、振り返りの中で自分自身の苦手な分野にぶつかりました。苦手な部分を伸ばす勉強も必要だと感じましたし、春休みももう少しで終わりますが気持ちを切り替えて勉強に力を入れていきたいです。平均以上を常に取りたいことを目指し、浅い知識として覚えず頭にしっかり入るように勉強の仕方も工夫して大学 3 年生の生活を始めたいと思います。

▼「自分だけでなく周りの人の成長も意識し責任感を持って行動」

25 期 中国地方の公立大 3 年の女性

今年、大きく成長できたと感じる 2 つの出来事がありました。1 つは、オーストラリアに 3 週間、ひとりで語学留学に行ったことです。もう 1 つは、カフェ店でのアルバイトで向上心を持ち、新しく入った後輩に対して責任を持って指導したことです。

まず、オーストラリアでの語学留学では、自分の英語力を伸ばしたいという強い思いから、一人で渡航することを決意しました。初めての海外生活であり、言葉の壁や文化の違いに直面しましたが、現地の人々やクラスメートと積極的に交流し、英語での会話に挑戦し続けました。最初は思うように言葉が通じず、不安に感じることもありましたが、「間違いを恐れずに話すことが大切だ」と気づいてからは、積極的に会話をするようになりました。その結果、英語でのコミュニケーションに自信がつき、英語を話すことの怖さがなくなり、帰国後も英語学習に対する意欲がさらに高まりました。また、一人で生活する中で、自分の行動に責任を持つ大切さを学び、精神的にも大きく成長することができたので、本当に行って良かったと思いました。

次に、カフェ店では、向上心を持って仕事に取り組み、後輩の指導にも責任を持つことを心がけました。最初は自分の仕事をこなすことに精一杯でしたが、慣れてくるにつれて、お客様により良いサービスを提供するためにはどうすればいいかを先輩と一緒に考えるようになりました。例えば、注文を受ける際にお客様の表情や様子を見ておすすめのカスタマイズを提案することで、満足度を高める工夫をしました。また、新しく入った後輩が仕事を覚えやすいように、自分の経験をもとに分かりやすく説明し、困っている様子があれば積極的にサポートしました。

これらの経験を通じて、私は挑戦することの大切さと、責任を持って行動することの重要性を学びました。語学留学では新しい環境に飛び込み、自分の力で成長する経験を得ること

ができました。アルバイトでは、自分だけでなく周りの人の成長も意識することで、責任感を持って行動できるようになりました。これからも、積極的に新しいことに挑戦し、自分を成長させていきたいと考えています。今年度からは就職活動に向けて忙しくなると思いますが、自分がやりたい事に挑戦し続けたいと思っています。

▼「学生の時期に人生の悩みを経験したことは逆に幸せ」

25期 関東の私立大学3年の男性

2年生後期の生活について報告します。

はじめに勉学についてです。私は、教職の授業の一環として大学の教授に向けて日本教育の改革の必要性についてプレゼンテーションを行いました。日本教育の改革の内容として、英語教育の授業方針の変更であります。1つ目は、定期試験の廃止。2つ目は、文法や受験の単語帳を用いた英語教育の廃止。3つ目は、英語教育の日本人教師の廃止。その代わり、ICTを用いてALTの教育を提供すること。日本教育の改革の必要性を提示したきっかけは、日本人が英語を話せないのを身近に感じてきたためです。接客のお仕事をした際に、他の大学生が、外国人のお客さまに対して、言葉が出ず、代わりに私が対応を行った経験があったからです。日本人が英語を話せない要因として常に正しい英語でなければならないといけないう無駄な義務感を保持しているからだと考えています。その根源として、長年に渡る文部科学省のいつ使用するかわからない文法や単語を暗記する教育からであります。世界規模で考えると、第二外国語で英語を使用する国が多いため、文法を間違えて会話しているのが普通です。今回プレゼンテーションを行えたことは社会に出てから生かすことのできるとてもよい経験となりました。

次に、私自身の心情の変化について報告します。私は、前回の御社に作文を提出した後の半年の中で、私自身の人生について悩んでいました。哲学的な話となりますが、人生とは人が生きると書いて漢字の2文字で表されますが、簡単な話ではないと感じていました。そのように深く考えた要因として私が他者と比較したからであります。社会では多種多様の考え方を持った人が大勢存在します。人と関わるときに時にはうまくいったときもあれば、うまくいかないときもあります。うまくいかない時に私は成功している誰かと比較をしてしまい、深く人生について考えていたと今振り返ると感じています。前向きに心情が変化した理由として、私より人生を経験した偉人の話を、YouTubeを通して視聴し、私自身の生活の糧となったからです。偉人の例として、大学を中退しappleを創設したスティーブ・ジョブズ氏やACミランを経験し、複数の事業を現在行っている元サッカー日本代表の本田圭介氏です。2人に共通点は、人生の壁に本気でぶつかっていることでした。2人のスピーチを聞き、私自身の心のうやむやが晴れていきました。学生の時期である現在に人生の悩みを経験できたことを逆に幸せであったと感じようと考えています。

次に生活面について報告します。私は人生の夢であった野球の聖地である阪神甲子園球場で阪神巨人の試合を観戦することができたことです。この経験が2024年の中で一番幸せな

時間となりました。言葉に表すことのできない雰囲気味わえたのは私の人生の宝物です。

最後に今後の生活の抱負について報告します。お金をためて、海外を旅したいと考えています。今まで日本文化しか経験していなかったため、海外の文化や食事を通して自分の価値観を高めたいと考えています。私が現在、大学でたくさん経験できているのは読売光と愛の事業団の皆さまのご支援があつてこそだと思っています。どうぞ、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

▼「実習を通して看護師という職の魅力を感じる」

25 期 東北の公立大学 3 年の女性

春休みが終わり、オリエンテーションや学部内のクラス交流会など 4 月ならではの予定が増えてきました。春休み中はサークルの大会に向けた練習と、アルバイトをほぼ毎日入れたため休みのない日々を過ごしていました。冬休み期間からバイトの日程やどんなバイトをするのか考えながら、継続して行っている塾講師やバスケの試合の飲食コーナーでのバイト、スーツ販売、イベントの運営バイトなど働く内容も様々でやりがいがありました。4 月からは塾講師と家の近くの居酒屋でバイトをしようと思っています。課題も多くなってくるので、無理せずバイトを継続的にできたらいいなと思っています。

4 月から看護学部の 3 年生となり、新しい学年が始まりました。3 年生になってからは、これまで以上に専門的で実践的な内容が多くなり、大変さは増すと思いますが、友達と協力しながら乗り越えたいと思います。これまでの実習を通して、勉強不足を感じる場面も多くなりましたが、それ以上に看護師という職の魅力を感じる場面が多くなりました。3 年後期から本格的に各領域の実習が始まり、前期はそれに向けて大量の課題をこなしていけないといけなため、体調管理を徹底しながら頑張りたいと思います。

私はサークル活動としてダブルダッチ（二本のロープで跳ぶなわとび）に取り組んでいます。学業との両立は正直大変ですが、サークルの仲間と一緒に汗を流す時間は、私にとって大切なリフレッシュの場です。今は新入生の勧誘期間でもあり、自分たちが経験してきた楽しさや成長を伝えられるよう、準備を進めています。

看護の勉強もサークルもどちらも大切にしながら、バランスを取りつつ充実した大学生活を送れるよう、これからも一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

▼「学業以外の資格も居残り勉強して取得」

26 期 沖縄の専門学校 2 年生の男性

24 年度は 4 月から 1 人暮らしを始めた一年間でした。最初は慣れない生活で料理に苦戦しましたが、今では最初に比べ出来る料理も増えていきました。今でも苦手としているのは洗濯と掃除です。アルバイトは同級生のバイト仲間もできて 1 年間続いています。学校生活では、必修科目で苦手だったカット、ワインディング（巻く、並べる）でしたが、カットは練習回数も増やして 20 分以内の制限時間内にできたり、カットラインを綺麗にした

りできるようになりました。ワインディングでも構成が綺麗にできるようになり、20分の制限時間内にも達成できて、最初の頃に比べて進歩したので学校の先生からも褒められるようになりました。

後期からは新しい授業も増えました。今はオールウェーブが大変です。オールウェーブは髪全体にウェーブをつけて形を作るヘアスタイルですが、ウェーブとカールを作るのが大変で苦戦しています。学業以外では、人それぞれに似あう色調を提案するパーソナルカラー診断検定とサービス接遇検定も居残りして勉強し、取得することができました。また、後輩の入学式のセレモニーでモデルパフォーマンスを披露する為、練習に取り組んでいます。

先日、後輩の卒業に行きました、そのまま施設に顔を出して後輩達とサッカーをして体を動かしました。初めて姉と東京に旅行にも行きました、東京ではディズニーランドや原宿に行き、浅草ではおでんや肉まんなどを食べ美味しい思い出もしました

今年は、国家試験の年です。カット、ワインディング、オールウェーブでさらに練習を重ね、試験に合格できるように頑張ります。就活活動も計画的に頑張ります。

▼「たくさんの刺激を受け自分自身の視野も広げる」

26期 中国地方の専門学校2年の女性

進学して一年が経とうとしています。この一年は、私にとってとても成長できたと思います。一人暮らしは家事をしなければなりません。体調管理や金銭管理が想像よりも難しいと感じています。料理や掃除も、これまでは誰かがしてくれる状況下にはありましたが、自分が必要としなければならず、待っていても料理が出てくることはないし、部屋がきれいになることもありません。一人暮らしは、強制的に自分を成長させてくれる良い機会だと感じています。この機会に感謝しています。

勉強面では、前期から成績を落とすことなく学科内で4位という結果になりました。日々の積み重ねが結果につながったと思います。勉強は、した分だけ身につきます。そこが勉強の良いところであり、私が勉強する理由になっています。後期の終わりには、実技テストがありました。自信がなく、不安がいっぱいだったのでたくさん練習しました。実技テストは、検査の技術だけでなく患者さんとの距離感やコミュニケーションも評価されます。適切な距離感であり続け、患者さんにわかりやすく検査の指示をする必要があります。それは、練習なしでは身につけません。毎日、放課後に残って練習することによって合格することができました。これからも、努力し続けて頑張っていきたいと思っています。

最近、友達とスノーボードに行ったり、夜景や夕日を見に行ったり、岡山に行ったりと充実した生活を送っています。昔の自分は、好きなことや好きなものを自分以外に人に言うことに抵抗がありました。受け入れてもらえなかったら、自分のすべてを否定されている気持ちになるからです。しかし、進学してから仲良くなった友達は、私が何を好きでも受け入れてくれます。お互いの好きなことを共有している時間が一番楽しいです。たくさんの刺激を受けることによって友達の感情を理解でき、自分自身の視野も広げることができて

います。これからも、新しいものに触れ続けて自己理解、他者理解を深めていきたいと考えています。

▼「友人に恵まれて学業も順調」

26期 九州の私立大学2年の男性

一年間、奨学金の給付をいただき本当にありがとうございました。今年も大学生活の時間を有意義に使っていかうと思います。さて、私の近況報告ですが、一年目の大学生活が終わり、そろそろ大学二年生になります。履修した単位はひとつ足りとも落とすことなく、この調子を継続できたなら、3年生以降に余裕を持てる程は単位を取得できました。今年度も同じ履修の方法をとっています。そのため、学校での学業はとても順調な状態です。

友人にも大変恵まれているので、困った事があれば助け合って、切磋琢磨し、生活しています。しかし、運動系のサークルに所属していたのですが、アルバイトの方を優先することが多く、参加できていませんでした。その結果、先輩たちとの人間関係が悪くなってしまい、今年度からはサークルを退会することになりました。運動不足がとても心配になってしまいました。そのため、今年度の履修登録において、本来であれば前期の木曜日は、全休にできたのですが、スポーツの授業を履修しました。少しでも運動不足を補えたらと思います。また、アルバイト先でメンバーをまとめていた中心の人が2人退職し、明るかった雰囲気が失われてしまいました。そのため最近バイト先を変えようかと考えています。普段の日常生活では、学生寮を退寮し、一人暮らしを始めました。一人暮らしに憧れがあったので最近はとても幸せです。すべての時間を自分のため、家のために使えるため、自立という形でとても成長できます。また最近、自動車学校に通うことになりました。地元への帰省で通えていない期間がありましたが、いよいよ仮免許取得に到達します。非常に充実した生活を送れていると思います。この一年間これまでは経験のなかったことがたくさんありました。明らかに一年前と比べ大人に近づくことができたと思えます。今後からもたくさんの新しいことに挑戦し、自分を成長させていかうと心から思います。

▼「料理能力の向上か、夢を叶えられるところか就職先の選択に悩む」

26期 東海地方の専門学校2年の男性

専門学校で後期と実技試験が終わり、無事に2年生に進級することができました。後期の授業で印象に残っていることは、今年2月の東京研修です。料理の勉強をするために卒業生が働いているレストランへ行き、中国料理を食べました。そこで出てきた食材は、フカヒレ、ナマコ、鹿のアキレス腱、クラゲなど、実際に目にしたことのないような物ばかりでした。特にナマコが出てきた時は、水族館でしか見たことがなかったので、「食べられるものなのか」と衝撃的でした。少し異様な見た目に食べるのを躊躇しましたが、シェフの素晴らしい味付けのおかげで美味しく食べることができました。食事の後に、卒業生とシェフとお話しさせていただきました。卒業生には、仕事のやりがいやそのレストランを選んだ理由を

聞きました。就職に対してのイメージが湧いただけでなく、先輩が働いている姿を見てとても刺激を受け、働くことが楽しみになりました。シェフには、料理に使われているソースや分からなかった食材・調理方法について聞きました。聞いたことがない調理法ばかりだったのでとても勉強になりました。私にとって東京研修は、とても貴重な経験になりました。学んだことを今後に生かしていきます。

私は中国料理を専攻しているので、様々な料理を中華鍋のみで作っています。最初は鍋をスムーズに振れませんでした。調理実習の回数を重ねていくうちに振り方・持ち方を正しい動作でできるようになりました。まだまだ未熟なので、これからもスキルアップのために毎日練習していきます。

今年度は就職活動があります。就職先について、料理能力を上げられるところか、自分の夢を叶えられるようなところを選ぶのかを悩んでいます。就職活動が始まるまで半年しかないの、先生や先輩に相談したり、自分で考えたりして、自分の希望するところに就職したいです。そして、日々の授業と実習をおろそかにせず、しっかりと取り組んでいきたいです。これからも勉学や実習に励んでいきます。

▼『もっとたくさんのボランティアに参加してみよう』

26期 関西の私立大学2年の女性

大学は現在春休み期間に入っています。時間が経つのはとても早く、入学してからあっという間に一年が経ちました。入学し、慣れない土地でスタートした生活にもすっかりと慣れ、学校生活も学校以外の普段の生活もとても充実しています。学校の授業では単位を落とすことなく、無事に一年間の勉強を終えることが出来ました。後期の授業は前期に比べて専門的な教科が増えて、勉強についていくのがとても大変でした。分からないことがあれば先生に質問に行ったり、友達と学校に残って勉強をしたりする回数が増えて少しずつ理解していき、予習復習がとても大事だと痛感した時期でした。テスト前は友達たちと勉強を必死に頑張り、一年間の成績は自分が思っていたよりも上の評価をもらえている科目が多く、とてもうれしかったです。勉強以外の取り組みでは、骨密度測定スタッフのボランティアや京都マラソンのスタッフのボランティアに参加しました。ボランティア活動に参加し、骨密度測定に来てくれた高齢者の方や京都マラソンに参加していた方たちからの感謝の言葉をもらうことで、自分がしていることが誰かの役に立っているのだと思うとうれしくなり、もっとたくさんのボランティアに参加してみようと思うきっかけになりました。そして、コミュニケーション能力も高くなり、学校の中だけでは感じることでできないものに触れることができて、ボランティア活動を通して今までより人として成長することが出来たのではないかと感じました。二年生からは大学のオープンキャンパススタッフのボランティアに参加しようと考えています。私が高校生の際に参加したオープンキャンパスの際にいたスタッフの方たちのように、自分の学校の魅力をしっかりと高校生に伝えられるスタッフになりたいです。二年生になると一年生の時よりもっと専門的になり、勉強も難しくなると思うけれ

ど、一年生で習ったことを春休みにもう一度復習し、二年生からの勉強も頑張っていきたいです。

▼「学業最優先で無理せずメリハリのある充実した大学生活を送っていきたい」

26期 東北の国立大学2年の男性

この度、無事に2年生に進級できましたので、第3Q(クォーター)・第4Q、そして春季休業などの近況報告をさせていただきます。

10月から第3Qが始まり、大学では授業だけでなく実験も始まりました。実験の前後に書く手書きレポートの量が多く、今振り返ると1年間の中で一番辛かった時期でした。多いときは1つの実験レポートだけで10枚以上書かなければならなくて、大学の講義が無いときは、いつも実験レポートを書いていました。そのようなこともあって、第3Qの期末テストは前期に比べてあまり良くありませんでした。

第4Qに入ると実験が無くなり、少し楽になりました。時間に余裕ができて、本来のペースを取り戻すことができました。しかし、第4Qの期間中、私生活があまりよくありませんでした。やはり、東北の気温は北陸に比べてはるかに寒く、一度風邪をひいてしまい冬はよく頭痛に悩まされました。年末は雪も多く降りました。大学に通学しているときによく吹雪いていて、買ったばかりの傘がすぐに壊れることが多かったのでその対策に悩まされました。

春季休業は期間が1ヶ月半と長く、経済的にも少し余裕があったので、3泊4日で函館に旅行に行って来ました。美味しいご当地名物を食べたり、夜景や五稜郭などのきれいな景色を眺めたりしてリラックスできました。海鮮丼は、忘れないほど新鮮な魚介類がいっぱい入っていて、初めての経験でした。それに東北と北海道は、意外に近いのだと再認識できました。旅行の旅程を計画するのも楽しい思い出になりました。また余裕ができたなら次は違う場所へ行ってみたいなと思いました。

2年生になると実験が本格的に始まり、大学生活が1年次に比べて忙しくなります。学業を最優先し、これからも無理せずにメリハリのある充実した大学生活を送っていきたいと思います。

▼「学業疎かにせず検定合格。喜び忘れられない」

26期 東京都内の専門学校2年の女性

4月に入り、2年生となりました。就職活動も始まり、忙しい毎日を過ごしています。アルバイトと学業の両立に慣れるまで時間はかかりましたが、充実した日々を送れています。しかし、1月から体調を崩してしまい、登校できない日が続いてしまいました。自分でもストレスや疲れが溜まってしまったのだと思います。そんなとき、学校の先生や友人、施設の職員さんが心配をしてくれたり、話を聞いてくれたりしてくれました。私は近くに家族がいないのでとても心の支えになりました。施設の職員さんから「大変なときは、自分が大きく

変わるとき、変われるタイミングなんだよ」と言っていた言葉がとても心に響きました。今は無理をして色々やるのではなく、程よく色々な事に挑戦していきたいと思っています。

就職活動の方は、資格を生かした職業に就くつもりでしたが、以前から興味を持っていた美容関係の仕事に就きたいという気持ちが強くなりました。美容関係の仕事に就くのであれば、少しでも美容関係の資格が必要だと思い、自ら「日本化粧品検定2級」を受けました。自分でも SNS などメイクについて調べたりしてきましたが、それ以上に専門的な知識や用語があり、苦戦しました。しかし、自分で挑戦すると決めたものであった為、学業も疎かにせず、並行して検定の勉強をしました。とても大変でしたが、見事合格する事が出来ました。あの時の喜びは忘れられません。まだまだどの職業に就くのか自分でもまだ悩んでいますが、焦らずに学校の先生や信頼できる大人に相談しながら決めていきたいと思っています。又、地元での就職ではなく、他県での就職を考えています。私は地元から離れた事がないので、大変ではあると思いますが、自分を信じて頑張っていきたいと思っています。

▼「無事にアパレルブランドの一次面接を通過」

26期 東京の専門学校2年の女性

学校生活では、専門2年の生活がスタートして、新しく後輩ができたり、就職活動が始まったりと緊張感が高まっています。就職活動は、春休みから本格的に始めており、無事アパレルブランドの一次面接を通過しました。残る最終面接も油断せず頑張ります。

就活が始まってからより多忙な毎日ですが、一人暮らしは生活習慣が乱れることのないようバランスの良い食事に気を付けています。最近は食事の成分アプリを使って、1日に必要なタンパク質、カルシウムなどを意識して料理作りに取り組んでいます。

アルバイトは働き始めて1年も経っていないのですが、ありがたいことにお客様に好評で、店長からも高い評価をいただいています。現在はCS（お客様）担当のトップとしてスタッフを指導する立場で働いています。みなさま、いつもご支援ありがとうございます。引き続き応援の程よろしくお願い致します。

▼「祖父母の元でキャベツを収穫。立派に跡継ぎたい」

26期 中国地方の私立大学2年の男性

夏休みが終わり、秋学期が始まりました。入学してから約半年が経ち、新生活にも慣れてきました。新生活に慣れてきた事で、みんなと遊びに行ったりすることが増えました。最近には特に神戸や大阪などの古着屋に行って服を買ったり、ショッピングを楽しんだりしています。私は高校の時にあまり服を買わなかったので一回の買い物でかなり買ってしまう傾向があり、お金を使い過ぎてしまわないように気をつけたいです。

買い物をする事が増えた事に加え映画を観る事も趣味の一つになりました。高校生の時は部活動で忙しく映画をあまり見る時間がありませんでした。しかし、今はお金に余裕があり平日はアルバイトを入れていないので夜の余った時間は映画を観ることに使っています。

最近映画を観すぎて飽きてきてしまったので次はアニメやドラマを観るのものはまっています。

秋学期に入って専門的な内容の授業も増えてきており、少し難しくなってきました。しっかり勉強して単位を取れるように頑張りたいです。

秋学期に入ってから気持ちの緩みからか、周りの友達で事故を起こしている人が多いので私も免許を取得したら気を付けて運転したいです。最近夜に皆とドライブに行くことが増えました。山に行くと動物が沢山いるので写真を撮ったり、淡路島を一周して、最近の出来事などを話合ったりしています。

お金に余裕が出てきたので三ノ宮や大阪に行った友達の所に遊びに行く事も増えました。三ノ宮、大阪方面に行った友達が多く、今度は四国の方に行った友達にも久しぶりに会いたいと思っています。

春休みになりました。大学の春休みは二か月くらいあるので、高校と全然違うので驚きました。最初の一か月はアルバイトを沢山しました。アルバイトを入れすぎて腰を少し痛めてしまったので、自分で判断して休みなどを取っていきたいです。残りの一か月は帰省に使いました。帰省すると安心感があって、ゆっくり過ごすことができ良かったです。地元に残って働いている子や地元の友達とも遊ぶ事が出来て楽しかったです。里親と実家で将来どうなっていくかの相談をしました。近しい人達は親身になって話を聞いてくれるのでとても話しやすかったです。いつでも帰ってきてもいいよという言葉が一番嬉しかったです。

祖父母の家に行って冬キャベツの収穫を手伝いました。学校で習わないような事も教えてくれました。今の農業は環境の変化に迅速に対応することがとても大事で従来の方法では間に合わなくても少し工夫をするだけで時間短縮が出来るのでとても勉強になりました。立派に跡を継げるようにこれからも頑張っていきたいです。